

授業科目名	専門外国語講読Ⅰ <i>English Reading for Nursing I</i>				担当教員	高瀬 文広					
開講年次	1年前期	セメスター	1			時間数(単位数)	15(1)				
必修選択	選択 (保健・看護コース必修)	授業形態	講義、演習			使用教室					
授業の目的	保健・看護領域および関連領域の外国語で書かれた論文の講読を行う。										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の英語論文を読むことができる。</li> <li>2. 学術的論述の構造に関する知識を獲得する：個々の文、段落、文章を支える構造的原理についての知識を獲得し、予測しつつ読むことができる。</li> <li>3. テキストで扱われた主題について自分の見解を発信できるようになる：母語も併用して概念を整理し、英語の構造に合わせて、一段落程度の文章を作成することができる。</li> <li>4. 自分の英語学習についてのメタ認知を形成することができる：既得の知識・技術と目標とする知識・技術を認識して、後者を獲得するための行程と方法を立案できる。</li> </ol>										
DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
	○	◎									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1回 英語論文講読への導入、学習方略内省、学習計画立案 受講生が提示した論文について、特に Abstract の構造分析を中心に講義・演習</li> <li>2回 受講生が提示した論文について、特に「はじめに」「おわりに」を中心に講義・演習</li> <li>3回 プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）、質疑応答、フィードバック</li> <li>4回 「研究方法」を中心にプレゼンテーション、質疑応答、フィードバック</li> <li>5回 「研究結果」を中心にプレゼンテーション、質疑応答、フィードバック</li> <li>6回 「考察」を中心にプレゼンテーション、質疑応答、フィードバック</li> <li>7回 「結論」を中心にプレゼンテーション、質疑応答、フィードバック</li> <li>8回 フィードバック（学習方略再点検）</li> </ol>										
学習方法	<p>予習：授業計画に沿って、該当論文を読み、授業に臨む。 担当者は、論文の内容が説明できるよう熟読をし、さらにレジュメを予定日の1週間前までに担当教員に電子提出をしておくこと。</p> <p>復習：Abstract および論文の構造と各項目の要件の確認をする。また、論文特有の英語表現を確認する。</p>										
オフィスアワー	火曜日～金曜日昼休み・木曜日午後およびアポイントメントによる (f-takase@jrckicn.ac.jp)										
テキスト	受講生が講読を希望する英語論文										
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 安原和也：英語論文表現入門—中高基本 150 語から学ぶ英語学術表現の世界。岡山，大学教育出版，2011.</li> <li>② 安原和也：英語論文重要語彙 717。東京，三修社，2012.</li> <li>③ Murray, Rowena：How to Write a Thesis. Philadelphia, Open University Press, 2002.</li> </ol>										
評価方法	批評活動への参加度（30%）、担当論文の解説及びレジュメ作成（35%）、プレゼンテーションの完成度（35%）										